

ティーンズルーム等の検討の方向性について

1. ターゲット

中学生・高校生

※児童館（小学生中心）との役割整理

2. 方針・考え方

- ・利用者が主体的に活動できる場
- ・仲間を集めて自分がしたいことをする。そのためのきっかけを提供
- ・ティーンズルーム利用者を団体の様に位置づけ、サウンドスタジオ等他の部屋も利用

3. 検討方法

- ・中学生・高校生から意見を聞く（直接話を聞く、施設見学等も検討）
- ・事業のボリューム等から必要な人員体制を考える

4. 具体的な取組

- ・公民館利用団体や地域の人材による講座プログラム
- ・サークル活動（曜日毎、いずれは自主グループ化を目指す。）

5. 検討課題

- ・ニーズ把握
- ・スタッフ体制（見守りスタッフ（コーディネーター等）の配置、ボランティアスタッフ）

6. その他

視察先のまとめ

	武蔵野プレイス (青少年フロア)	文京区青少年プラザ b-lab
運営	指定管理 武蔵野文化生涯学習事業団	業務委託 NPO 法人カタリバ
対象	小学生、中学生以上満 19 歳以下 ※大人は利用不可	区内在住、在学の中学生高校生 ※グループ利用の場合は例外あり
事業内容	フリースペース	サークル活動
特徴	図書館や市民活動センターとの複合施設。駅前でアクセスが良くカフェがあるおしゃれな施設。	教育支援センター、児童発達支援センターと併設。近隣の大学より多くのボランティアスタッフが参加している。